

町立
指江図書館

TEL0996-88-6500



「寿限無」

齋藤

孝文

だれもが知ってるあの「寿限無」がゆかいな絵本になりました。ページをめくって寿限無を唱える楽しい絵本です。

町立
鷹巣図書館

TEL0996-86-1111



「十二支のはじまり」

高合まち子文

十二支のできたきっかけがわかる本です。
世界にも十二支あるんだよ。知ってた？

町立図書館おすすめ

図書館においてある本の中から
おすすめのものを選びました。
バラエティに富んだ本を紹介します。

長島文芸

Nagashima Bungai ながしまぶんげい

長島短歌会

ひと切れのカステラ吾の掌に乗せる曾孫の仕草な
んと愛らし 浜畑 松枝
薄の穂光りて揺るる大口市遠き日亡夫と住みにし
ところ 松元 睦子
デイケアの送迎車の窓黙しゆく石路の花連なり揺
れて 岩下 ち江
傘寿超えよるべなきわが残生を思ひめぐらす夜半
の雨音 榎平 頼子
向かふ山のなだりにひと本銀杏黄葉灯りのごとく
陽を受けて立つ 米尾 和子
咲き満つる黄菊の花の蜜を吸ふ熊蜂ひとつ霜月な
かば 坂之下典子
向かふ山の暮れ初む空に星ふたつ連れ添ふごとく
瞬きぬたり 中山タマエ
シヨートステイの窓に映りて石路の黄物が盛り心
和みぬ 浜田美代子

明神俳句会

冬めくやわが八十の膝頭
石路の花夕日まみれの道の駅 淵脇 護
繋り場の船の軋や冬の海 迫口 君代
廃校の庭に咲き継ぐ石路の花 関 佳代美
シチュー待つ十一月の夕餉かな 山寄加代子
三回忌母を偲べる石路の花 白男川孝仁
石路の花綺麗造形美術展 大堂 正弘
あいさつの生徒の声や冬めける 二階堂妙子
霜月や暮れても見ゆる島明り 脇田 武志
天辺の墓に灯れり石路の花 二階堂恵子
愛猫の墓に手向けし薫の花 大堂 早苗
カーラジオ一瞬消ゆる石路の花 関 喜久雄
肥後 広行

創世短歌会

総身を揺すりて諸葉落す木に敗北感の総量が見ゆ
竹之内重信
喫水を深く沈めてタンカーが長島海峡進みゆく見
ゆ 宮元 司
冬の日の移るは早しベランダに干せる布団のすで
に陰りつ 石原百合子
起き臥しも共にするらむメジロ二羽庭に來たりて
枝を移れり 村上 義彦
秋野菜播き終りたる畝に差す種の袋はこちらに向
けて 大塚 洋子
草刈りを終えたる後に一本の白百合立てり風に揺
れつつ 野村 益信
我慢して來たる妻への不満など病めばいつしか忘
れていたたり 山下 学

一般作品

「短歌」

石ウスでモチつく大人子供らはセイロの米をつま
み喰いたり 小林 貢
残菊の色彩り映えて霜の朝手折りて娘位牌の前に
小林 如月
朱き実の薔薇の種割り土に埋むはるか三年の後に
見る花 後藤ヨシエ
久びきに「はんとけるな」の言葉きく新宿シネマ
夕陽のあとに 母木 良平
年來るや月日の立のは早い事年はいらねど仕方た
ないかな 町田 末則